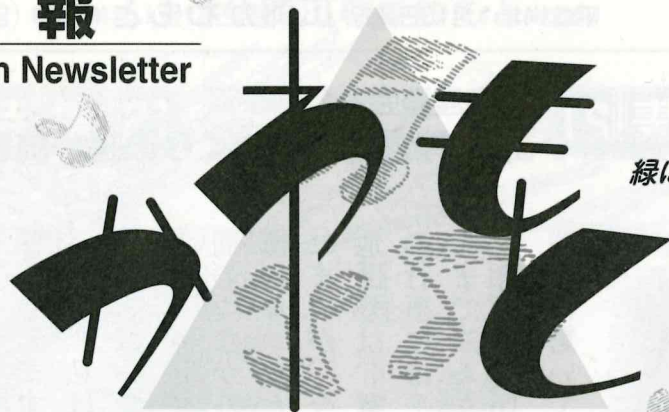




緑にこだます 音楽の里

2002 1 January No.369
平成14年
<http://www.web-sarin.co.jp/local/kawamoto>



川本町の未来を担う子どもたち。住民一人ひとりの結束力が求められています。(川本幼稚園)

特集 21

新春座談会

市町村合併を
町づくりの追い風に

情報の活用が

地域の結束力促す

町長 明けましておめでとう
ございます。平成十四年の年頭
にあたり、二十一世紀のまちづ
くりについてきたんのないご意
見をいただきたいと思います。

石田 私は縁あって川本町に
移り住み十九年になります。以
前は人も多くにぎやかでした
が、人口の減少に伴い、少しず
つ活気がなくなっているように
感じます。何とかして活気を取
り戻し、希望のもてる町にして
いきたいですね。

北野 少子高齢化がさらに進
むと「田植えばやし」など郷土

二〇〇二年がスタートしました。地方分権の推進
と相まって、合併論議が本格化する中、住民が一体
となった町づくりが求められています。小田町長を
囲み、新成人など各世代の代表の方に「二十一世紀
の川本町」について課題や将来展望を語ってもらい
ました。

… 出席者 …

石 田 悦 子 さん (元 町)
木 村 美由樹 さん (三 島)
北 野 嘉 徳 さん (北佐木)
川本町長 小 田 泰 敬

特集21

新春座談会 市町村合併を町づくりの追い風に

芸能の伝承にも影響を与えますね。

木村 私は瑞穂

町から嫁いできました。地域や世代間のつながりが希薄になったと言われますが、今住んでいる三島

地区では、運動会や祭りなどの行事には子どもからお年寄りまでみんなが参加して楽しんでいきます。地域の結束力の強さに驚いています。



北野嘉徳さん、石田悦子さん、小田町長、木村美由樹さん
(写真左から)

川本町長 小田 泰敬



町長 昔

の人々は、地区の行事などで必ず子どもたち

にも役割を分担し、大

人と子どものかかわりをつくってきました。私たちは積極的にその知恵を受け継ぎ、世代間の交流を促していかないといけませんね。

石田 一緒に参加すること

で郷土愛も生まれますね。

北野 学園祭など大学の催

し物を運営する学友会に所属していますが、当初、行事に対する学生の関心度の低さが目立っていました。原因を探った結果、行事の目的や趣旨がきちんと伝わっていない。情報を流すことの大切さを痛感し、企画段階から一体となつて取り組まなければいけないということがわかりました。

町長 まちづくりも同じです

北野 中高生も交えて、

住民と行政が一緒になって問題に取り組めば、町に対する関心も高まり、社会勉強にもなると思います。

町長 いよいよ今春から、

完全学校週五日制になります。子どもたちには、まちづくりを通じて、人と人、自然とのかかわりが深まるような体制づくりが急がれます。

町独自の音楽教育で アピールを

アピールを

石田 学校は、地域の存亡

も支えていると感じます。学校教育がもっと地域に駆け込むとうれしいですね。例えば、部活動でユニフォームを着た生徒が町内を走ると町民は「頑張ってる」と声援を送ることができるし、子どもたちは、お兄さん頑張ってるな、僕もあんなふうになりたいな」と夢を持つことができます。

町長 ちょっとした工夫で

町の気運を盛り上げることが大切ですね。

木村 私は川本高校（Ⅱ以下「川高」）吹奏楽部のOB

（卒業生）です。現役時代は部員が多く、大会の出場メンバーも選抜があった程ですが、ここ数年は激減しています。OB会では今夏、現役部員との共演により恒例の定期演奏会を継続していく予定です。

北野 部活動で得た体験

は、生涯を通じて良い励みになると思います。

木村 演奏の技術だけでなく、あいさつなどしつけも厳

しかったですが、当時の経験が今の仕事に役立っています。

北野 嘉徳さん



島根県立大学2年生。今年20歳の成人を迎える。

特集21

新春座談会

市町村合併を町づくりの追い風に



石田悦子さん

絵本の読み聞かせを通じて、子どもたちの健全育成に努めている。

石田 市町村合併の話題が

活発な合併論議で
希望ある町へ

す。OB会でもできる限り、伝統ある吹奏楽部を支援していきます。

石田 町の防災行政無線で川高放送部員がアナウンスをしている試みもいいですね。

木村 瑞穂町の無線では、川高吹奏楽部OBが演奏するオカリナの音色が流れています。

石田 日々の暮らしの中で、自然と音楽にかかわりがもてる音楽教育や雰囲気づくりができるといいですね。

絶えませんが、若い世代の皆さんはどのようにとらえていますか。

木村 過疎化が進んでいる中で、合併の是非は難しい問題ですね。

北野 一般的には合併により、周辺部は一段と過疎化に拍車がかかる、行政システムが一極集中してサービスや災害時の対応が不便になると言われていますが、合併は大きな行政課題。是非の判断も含めて、町民全員が考えていく必要があります。そのためにも多くの情報が必要であり、町内に掲示板を設けたりするなど、積極的に情報開示してほしい。

町長 まちぐるみで将来像を見据えた議論は欠かせません。本町でも、住民との意見交換会や広報紙を通じて情報提供に努めています。今後合併論議の背景や目的、まちづくりのあり方など、質

の高い情報提供に努力していく必要があると感じています。

北野 大学が位置する浜田市では定期的に市職員と、学生や商店街の店主を交えた座談会があります。市が抱える課題やまちづくりについて自分たちの意見を投げかけます。住民の声が反映される場があると、まちづくりへの意識も高まります。



木村美由樹さん

川本高校吹奏楽部OB。
現在、育児と仕事に奮闘中。

ることが大切だと思います。知識がないと、誤った認識が対立や不平等感をもたらすこともあるでしょう。

町長 大きな変革期の中で、どのようなまちの将来像を描くのか、様々な角度から分析し、新世紀にふさわしいまちづくりの追い風にしていかなければなりません。

木村 希望もてるまちづくりの一步になればいいですね。

北野 これからのまちづくりは、ものをつくるだけでなく、心をつくり育てていくことが大切だと思います。

石田 次世代のために、自然豊かな田園風景も残してほしいですね。

石田 合併論議も同じですね。

北野 質の高い情報を収集して、一人ひとりがその課題を見極めるための知識を高め

町長 皆さん一人ひとりの町に対する思いの強さを知ることができ、非常に心強く思えます。今後とも、住民の皆さんとともに、まちづくりを進めていきたいと思えます。

平成12年度の各会計決算が12月定例議会で認定されました。

決算概要

平成12年度の歳出決算は、48億6,674万2千円で前年度より▲3億8,505万5千円(▲7.3%)の減額となりました。

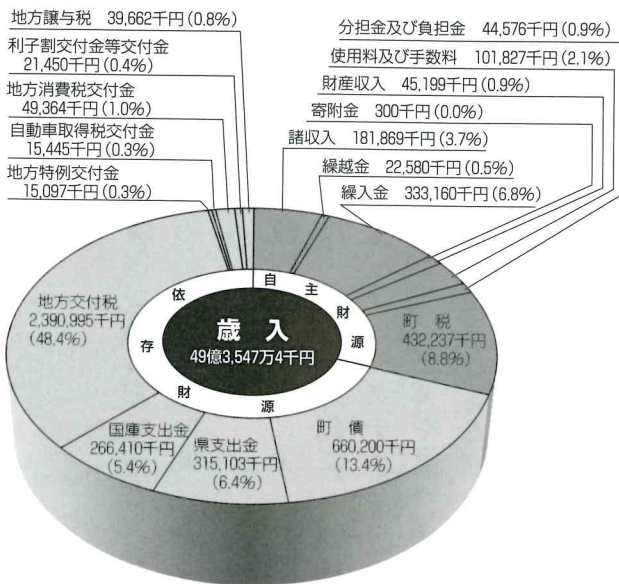
歳入歳出差引額6,873万2千円のうち、平成13年度への繰越事業(介護予防拠点整備、三島三谷線整備、下三島・多田地区宅地等水防対策)への充当財源3,354万9千円を差し引いた実質収支は3,518万3千円となります。

前年度の実質収支額が1,644万8千円であったため、平成12年度の単年度収支額は1,873万5千円の黒字となりました。

平成12年度普通会計

決算報告

歳入

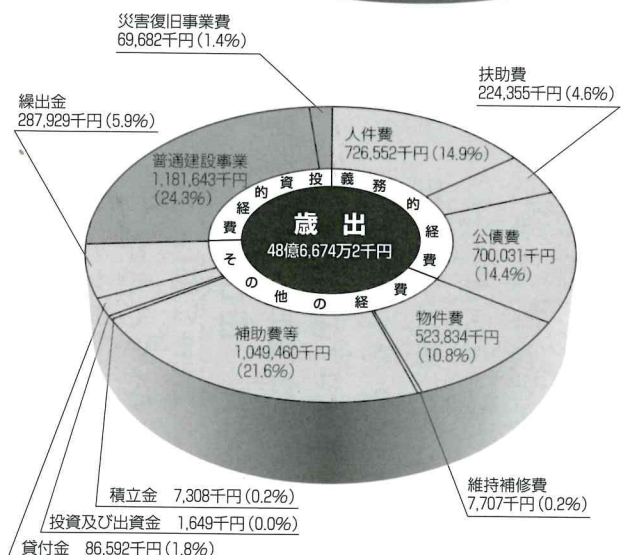


区分	決算額(千円)	対前年比
自主財源		
町税	432,237	4.5%
分担金及び負担金	44,576	▲42.7%
使用料及び手数料	101,827	1.0%
財産収入	45,199	160.1%
寄附金	300	▲96.5%
繰入金	333,160	24.1%
繰越金	22,580	▲62.5%
諸収入	181,869	▲49.4%
自主財源計	1,161,748	▲11.1%
依存財源		
地方譲与税	39,662	1.3%
利子割交付金等交付金	21,450	295.6%
地方消費税交付金	49,364	3.1%
自動車取得税交付金	15,445	▲6.9%
地方特例交付金	15,097	37.7%
地方交付税	2,390,995	6.6%
国庫支出金	266,410	▲38.3%
県支出金	315,103	▲31.7%
町債	660,200	▲7.1%
依存財源計	3,773,726	▲4.9%
合計	4,935,474	▲6.4%

性質別決算額状況表

区分	決算額(千円)	対前年比
経費的		
人件費	726,552	▲2.8%
扶助費	224,355	▲31.1%
公債費	700,031	8.6%
その他の経費		
物件費	523,834	▲5.5%
維持補修費	7,707	▲29.4%
補助費等	1,049,460	20.5%
積立金	7,308	▲8.8%
投資及び出資金	1,649	62.5%
貸付金	86,592	▲70.0%
繰出金	287,929	68.8%
投資的経費		
投資的経費	1,251,325	▲23.2%
普通建設事業費	1,181,643	▲20.1%
うち補助事業	285,497	▲24.9%
うち単独事業	598,969	▲28.8%
災害復旧事業費	69,682	▲53.8%
合計	4,866,742	▲7.3%

歳出



主 な 事 業

平成13年3月31日現在住民基本台帳／4,672人

総 務 費 939,735千円 (町民1人当たり 201,142円)

文書広報事業費	4,516千円
定住奨学金貸付事業	5,892千円
文化会館運営費	55,847千円
中山間地域活性化緊急対策事業	20,000千円



衛 生 費 334,473千円 (町民1人当たり 71,591円)

老人保健事業	21,729千円
母子保健対策費	1,706千円
火葬場運営費	22,376千円
清掃費	208,639千円



土 木 費 874,372千円 (町民1人当たり 182,152円)

三島三谷線改良事業	361,701千円
町道整備費	32,642千円
若者住宅建設負担金	60,008千円
県道改良事業負担金	167,150千円
除雪機械購入	12,600千円



教 育 費 401,675千円 (町民1人当たり 85,975円)

スクールバス運行費	24,709千円
小学校費	32,402千円
中学校費	44,302千円
幼稚園費	23,930千円
文化振興費	93,829千円
図書館費	12,438千円
体育施設費	18,997千円
学校給食費	23,544千円



民 生 費 630,726千円 (町民1人当たり 135,001円)

老人福祉費	306,968千円
身体障害者福祉費	25,017千円
児童福祉費	145,427千円
福祉医療費	20,287千円



農林水産業費 485,908千円 (町民1人当たり 104,004円)

農業公社管理運営費	40,011千円
中山間直接支払事業	15,062千円
地籍調査費	26,232千円
県営中山間事業負担金	38,860千円
集落排水処理事業繰出	104,085千円
大邑、笹畑農道負担金	44,520千円
水田営農推進事業	9,766千円
造林事業費	67,421千円



消 防 費 347,644千円 (町民1人当たり 74,410円)

消防組合負担金	97,069千円
消防団費	7,441千円
防災行政無線施設整備費	204,750千円
防火水槽設置事業(古屋口、馬野原)	7,609千円
コミュニティ消防センター(多田)	13,529千円
水防費	4,513千円



議 会 費 69,178千円 (町民1人当たり 14,807円)

商 工 費 13,318千円 (町民1人当たり 2,851円)

災害復旧費 69,682千円 (町民1人当たり14,915円)

公 債 費 700,031千円 (町民1人当たり149,835円)

会計別決算内訳

(単位：千円)

会 計 区 分	歳 入	歳 出	差引額
普通会計			
一 般 会 計	4,954,194	4,885,462	68,732
住宅新築資金等貸付事業特別会計	40	40	0
国民健康保険事業特別会計	421,893	397,932	23,961
老人保健事業特別会計	838,375	814,081	24,294
簡易水道事業特別会計	348,609	333,793	14,816
農業集落排水処理事業特別会計	536,548	465,784	70,764

財産の状況(12年度末)

()内は対前年度伸び率

●基金現在高	1,379,470千円	(▲19.0)
●土地	2,779,045㎡	(0.1)
●建物	58,743㎡	(▲0.4)
●出資金	313,113千円	(0.5)
●債権	72,425千円	(▲7.0)

町債の状況

●12年度末現在高(普通会計)	7,511,309千円	(1.0)
1人当たり	1,608千円	(2.9)

一年の防火を誓う

消防出初め式



的を目標けて放水する消防団員

川本町消防出初め式が一月五日、川本小学校グラウンドで行われました。式には、町消防団員や川本消防署員、来賓など約二百人が参加し、ポンプ車など二十一台が出動。団員たちは「消防使命の重要性を認識し精進してほしい」と小田町長の激励を受けて、寒風が吹き荒れる中、車両装備の点検やポンプ操作を行いました。また、長年の活動に功績のあった団員に日本消防協会会長などから表彰状が贈られました。最後は市中行進を行い、今年一年の防火を誓いました。



丸亀貴彦先生、園山学先生、非々玲子校長、古城敏幸教頭(写真左から)と一緒に記念写真に納まる川本西小学校6年児童8人

わたしたちが夢見る 21世紀の川本町①

—川本町立川本西小学校6年生—

今のままでもいいけど、もうちょっと店とゲームセンターがあったらいいな。

才木 宏佑

もったりサイクルとかをして、あまりゴミを増やさないでほしいな。

坂山 雄太

お花がいっぱい咲いていて、にぎやかだったらいいな。

佐々木成美

カードがたくさんうってる大きな店ができるといいな。

土居尚太郎

いろんな物がたくさん買えるお店が増え、いろんな所につながる高速道路があるといいな。

中村 祐樹

人に優しく、誰もが笑顔で接することができたらいいな。

長田加奈美

冬の時、橋の上が寒いから、橋をドーム型にしてほしいな。

野田 愛夢

かっきのあるまちになってほしい。

谷川 寛晃

事故防止願ひ 手作りマスコット配る



マスコットを配り安全運転を呼びかける会員

老人クラブ・三寿会

老人クラブ・三寿会(馬野原、小谷、川内)ではこのほど、事故防止を願ひ、運転手に手作りのマスコットを配りました。

交通安全の推進に貢献しようとして初めて企画。会員たちは、往來の多い地区内の県道に立ち「安全運転に心掛けマスコットなどをドライバに手渡しました。」と呼びかけながら、

※三原小学校は2月号、川本小学校は3月号に掲載します。

国際交流コーナー

ストレートに いうと...

川本町国際交流員

アレックス・バード



「あなたたちアメリカ人はいつも曖昧な表現を使わないで、ストレートに言いたいことを言うんですね」と何回もいわれたことがある。

国籍はイギリスだという内容を知らせることが済んだら、次の仮定をどういう風に取り扱えばいいかを考える。私はイギリス人なので、イギリス人の観点からこの論点について考える。日本人の日本語の使い方は、一般的に言うと、確かにイギリス人の英語の使い方より曖昧だと思う。けれども、それはイギリス人が曖昧な表現を使ったり、間をおいたり、遠慮したりしない訳ではない。イギリスの複雑な独特の社会の礼儀を守ることが、イギリス人に大切にされている。相手の気持ちを考えずに自分の意見をすぐ言う人は、思いやりのない人で、大人げないと思われることもある。

私は現在、日常生活を日本語でこなそうとしている。しかし、まだ微妙な表現の使い方が余り上手ではない。だから、私の英語より、私の日本語の方がストレートに聞こえるのではないかとと思う。日本人も英語を聞く時、微細な区別ができず、はっきりとした表現しか分からない場合もあるかもしれない。これがストレートに聞こえるので、外国人はいつもストレートに自分の意見を言うと思ってしまうだろう。



第3回 International Cooking Exchange

(料理で国際交流)

日 時	3月23日(土) 9:30~14:00
場 所	すこやかセンター
負 担 金	1,000円
募集定員	30人
申 込 先	教育委員会教育課

☎0855-72-0594

七草がゆ食べたよ

川本幼稚園



あつあつの七草がゆを食べる園児たち

川本幼稚園で一月八日、一年の健康を願う「七草がゆを食べる会」がありました。

お正月休みの明けた、三学期の始業式にあわせて行っている恒例行事。はじめに園児たちは戸田教諭から、初春の野に生える七つの若草の種類や、七草がゆを食べる風習のいわれを教わりました。大きなナベに七草がゆができました。あがると、園児は大喜び。七草のほかに、ニンジンやサツマイモを刻んで入れたおかゆを「おいしいね」と、何度もおかわりをしながら食べました。



木路原堤防で整備が進められている親水公園（左側が江の川）

江の川との『共生』を 促す事業すすむ

国土交通省浜田工事事務所

【木路原・因原堤防】川に親しむための「親水公園」を整備。水際まで行けるスロープは緩やかで、自然石をふんだんに使用。柳の植栽など工夫も凝らし「親しまれる江の川」へイメージアップ。

【川本堤防】堤防の一部（四十

区間）を階段化。子どもたちが安全に写生をしたり、花火見物もできます。

【その他】懸案の木路原上流・JR第2踏切附近の堤防締切と県道取り付け。着工予定は今春。



農作業標準賃金

平成14年 1月1日～
平成14年12月31日

(単位:円)

作 業 内 容	単 位	標 準 額	摘 要
作 付	耕 起	10a	8,500
	代 荒	10a	3,500
	代 本	10a	8,500
耕 起・本 代 か き	10a	16,000	代ならし(エブリ)は委託者で行う
田 植	機 械 植	10a	8,000
	手 植 え 賃 金	1日	6,000
農 業 散 布	10a	3,000	機械は受託者・農薬は委託者
稲 刈 バインダー	10a	8,500	ほとり刈りは委託者で行う
稲刈脱穀 コンバイン	10a	18,000	ほとり刈りは委託者で行う 倒伏による割り増しは別表(1)のとおり
脱 穀 ハーベスター	10a	10,000	
乾 燥 の み	30kg	別表のとおり	機械乾燥、紙袋代等別途
乾 燥 ・ 調 整	30kg	別表のとおり	機械乾燥、紙袋代等別途
一般農作業	男 子	1日	6,000以上
	女 子	1日	6,000以上
農 機 具 使 用 者 (オペレーター賃金)	1日	8,000以上	

別表(1)コンバイン刈取による割り増し料金

倒伏面積割合	0%～30%未満	30%～50%未満	50%～70%未満	70%～100%未満
割 増 率	規定料金	20%割増	30%割増	50%割増

別表(2)乾燥料金

玄米1袋(30kg) 当たり (単位:円)

籾含有水分(%)	15.5以下	15.6～18.0	18.1～20.0	20.1～22.0	22.1～24.0	24.1～26.0	26.1以上
乾 燥 の み	—	100	200	300	400	500	600
乾 燥 ・ 調 整	500	600	700	800	900	1,000	1,100

ただし、①1日当たりの労働時間は午前8時から午後5時までとし、弁当持参を原則とする。

②機械持参の場合は弁当及び燃料の持参を原則とする。

③農薬は委託者持ちとする。

※農地の売買、地目の変更、埋め立てをする際は、農業委員会等の許可が必要です。また、農地の貸し借りには届出が必要です。詳しくは担当地区の農業委員さんか農業委員会にお問い合わせください。

問合せ 農業委員会事務局(役場農林振興課内) ☎0855-72-0636

氏 名	担 当 地 区
田平 和雄	木路原・畑野・田水
井川 譲	日の出・上新町・元町
前田フサコ	中新町・下新町
高砂瀬喜美	本町・天神町
大畑スミ子	下谷・中倉
瀬上 直春	上谷・市井原
上田 茂人	長原・矢谷・芋畑
堂面とき子	日向・上因原
岡村 信子	下因原
杉本 悦子	多田・久座仁
山田 澄子	谷戸
住田 達宣	三島・笹畑

氏 名	担 当 地 区
坂山 儀行	木谷・尾原・木屋原
日笠 富子	田原・絵堂
森口 龍枝	三原
近澤多鶴子	田窪
福井不二子	南佐木
重富 範喜	北佐木の一部・湯谷の一部
藤井 幹雄	湯谷
山根 昭久	三俣
山根 節雄	川内・馬野原・小谷
市川 スエ	全地区 ※主任児童委員
三宅 康二	全地区 ※主任児童委員

(敬称略)



2月の保健行事

川本町役場健康福祉課

☎0855-72-0633

6日(水)●リハビリ教室
10:00～15:00
すこやかセンター

7日(木)●断酒会
19:00～21:00
すこやかセンター

12日(火)●乳児相談
13:00～14:00
すこやかセンター

●成人健康相談
14:00～15:00
すこやかセンター

20日(水)●リハビリ教室
10:00～15:00
すこやかセンター

21日(木)●三原地区健康相談
9:30～10:30
朝日ヶ丘会館

10:45～11:30

●親和集会所
22日(金)●シルバー講座(老人医療証交付)
13:00～15:00
すこやかセンター



交 差 点 情 報

川本町役場総務課

〒696-8501

島根県邑智郡川本町大字川本545-1

☎ 0855-72-0631

Fax 0855-72-0635

Hp <http://www.web-sanin.co.jp/local/kawamoto>

E-mail kawamoto@web-sanin.co.jp

町の人口

♂ 男 2,275人 (2,321)

♀ 女 2,433人 (2,467)

計 4,708人 (4,788)

うち65歳以上 1,626人 (1,657)

うち15歳未満 515人 (538)

▲ 世帯数 2,017戸 (2,037)

平成14年1月1日現在の住民登録による
()は前年同月

暮らし

人権相談 (人権擁護委員協議会)

日 時 2月22日(金)

場 所 すこやかセンター

問合せ 役場住民課

☎0855-72-0632

平成14年度県政モニター募集

資 格 満20歳以上。公務員、議員、過去3年の間にモニターを経験した人を除く。

締 切 2月8日(金)

問合せ 島根県広報課

☎0852-22-5770



申告相談

平成14年度町県民税・国民健康保険税・介護保険料の申告相談

- 事業所得(左官、大工等)があり収支内訳書を作成する方、土地の譲渡所得、山林所得(山林の伐採)のある方、そのほか贈与税等について税務署に相談のある方

2月18日 (月)	9:00~ 16:00	悠呂ふるさと会館 マルチホール	●浜田税務署の職員による相談日です。 ●この日に相談ができないと浜田税務署まで直接、出向いていただくこととなりますのでご注意ください。
--------------	----------------	--------------------	--

●上記以外の方の受付

月 日	時 間	場 所	対 象 地 区
2月19日(火)	9:00~16:00	公 園 管 理 棟	三 島
2月20日(水)	9:00~11:30	八 幡 会 館	田原・絵堂
	13:30~16:00	笹 畑 集 会 所	笹畑
2月21日(木)	9:00~11:30	高齢者生産活動センター	上尾原・下尾原
	13:30~16:00	さ つ き 会 館	木谷・木屋原
2月22日(金)	9:00~11:30	長 原 集 会 所	市井原・長原
	13:30~16:00	矢 谷 集 会 所	矢谷・芋畑
2月25日(月)	9:00~16:00	三 大 字 集 会 所	小谷・川内・馬野原
2月26日(火)	9:00~16:00	勤労福祉センター	日向・上因原
2月27日(水)	9:00~16:00		下因原
2月28日(木)	9:00~11:30	谷 戸 集 会 所	谷 戸
	13:30~16:00	み や こ 会 館	三 俣
3月1日(金)	9:00~16:00	朝 霧 館	谷・中倉
3月4日(月)	9:00~11:30	三谷生活改善センター	湯谷
	13:30~16:00	古 屋 口 会 館	古屋口・下北佐木
3月5日(火)	9:00~16:00	親 和 集 会 所	後区・上組・北佐木
3月6日(水)	9:00~16:00	三 原 集 会 所	市・莊厳寺・下佐木・南部峠
3月7日(木)	9:00~16:00	田 窪 自 治 会 館	田窪全域
3月8日(金)	9:00~16:00	朝 日 ヶ 丘 会 館	正蓮寺・白地・鉄穴谷
役場受付 (住民課窓口)	3月11日(月) 3月12日(火) 3月13日(水) 3月14日(木)	9:00~16:00	木路原・畑野・田水 多田・久座仁・弓市
	3月15日(金)		
		9:00~12:00	
平日都合の悪い方 3月10日(日) 9:00~12:00 役場住民課窓口			

問合せ 役場住民課 ☎0855-72-0632



民生児童委員

任期：平成13年12月1日~平成16年11月30日

- 右頁の方々が厚生労働大臣から民生児童委員として、また川本町長から生活相談員、国民年金委員として新たに委嘱されました。
- 民生児童委員は行政や社会福祉協議会などと連携を図り、社会福祉や児童福祉などに関わる様々な相談に応じ支援を行います。相談にあたっては、人権やプライバシーに配慮し秘密は守られます。お気軽にご相談ください。 <役場健康福祉課>

※長年にわたり地域のために尽力された6人の方が退任されました。
ご苦労さまでした。
森山美智子さん、山口昭九さん、堂面末子さん、是光正昭さん、長田昭六さん、湯浅比砂子さん

インタビュー

合併考

がっぺい
こう
(7)

今回は、人口増加に伴う新たな課題の解決策として合併を選択した旧多紀郡の四町が、過去の失敗を教訓に難題を解決し、念願の合併（平成十一年四月）を果たした経緯を聞きました。

今回は、合併後の効果や課題について教えてください。

「合併による明確な効果としては、人口増加に伴う水資源の開発、ごみ処理施設の整備充実、斎場建設、国立病院の存続など、旧多紀郡時代の広域課題がすべて解決したことです。『住民サービスは高く、負担は低く』を実現できた結果、行政サービスも向上しました」

「合併後、十年以内をめどに職員定数の削減や施設統廃合、適正配置を目指し、それに向けた行政改革も進んでいます」
懸念される声の多かった、中

合併後のまちづくり（上）

兵庫県篠山市④

心部と周辺部の格差はどうでしょうか。

「施設整備では、周辺部に対する公営住宅計画や、子ども博物館など教育交流施設の整備に取り組んでいるところです」

「本庁と支所の機能については、複数力所と同じサービスを受けることができるよう、地域によっては分所も新設しました。合併当初は支所に窓口業務と、下水道や道路整備など継続事業の担当職員を配置していましたが、効率が悪く、今は窓口業務だけを残しています。幸い篠山市は、東西三〇キロ、南北二〇キロのまとまった圏域なので、職員を本庁に集めても、一般的に心配される災害時の対応には影響ありません」

理想的な合併を遂げたモデル都市という評価を得て、全国の自治体から視察が絶えないそうですね。

「よく、合併による効果を探られますが、（効果は）すぐに表れるものばかりではありません。住民や行政がともに努力をしないといけないものもあります。本当に大変なのはむしろ合併後です」

どのようなことでしょうか。

「例えば、農地転用などの許可事務は本庁対応です。遠路から来庁する住民のためにも、私たち職員は専門知識をより深めるための自己研さんを積み重ね、サービスの質を高める姿勢が大切です。接遇の向上を目指し、職員研修も行っています」

「合併特例法による国からの財政支援が打ち切られたとき、胸を張って見てもらえるまちになっていたら、合併が本当に成功したと言えるでしょう。そのためにも今は、旧多紀郡が力を合わせたから市になったのだという住民意識を原動力に、地域のさまざまな課題を住民と行政が共に解決していく、協働のまちづくりの真つ最中なんです」

※次回は「合併後のまちづくり（下）」協働のまちを目指して」をお伝えします。



兵庫県篠山市政策部
おついで 次長 大対信文 さん

私の趣味

21

松浦 みゆき

（川本町日の出）

「子育てとスポーツ」

独身時代の私は、週の半分はスポーツづくめでした。日曜日、早朝のソフトボールの練習で始まり、職場のバレーボール、スポーツジム…。汗をかくことの楽しさ、充実感が、とつても好きでした。結婚をし子どもができる、スポーツをする機会がずいぶん減り、今ではたまにしていた主人とのキャッチボールもでき



上の子が幼稚園に入り、少々余裕が出てきたと思ったら、今度は育児サークル「おじゃママキッズ」のホームページ作り。気がつけば、目の前に楽しいことが待っている。これも子どものおかげかな…。自分、私の趣味は「子育て」で、そのうち子どもと一緒に「スポーツ」できる日がくるのを楽しみにしています。

編集後記

年頭にあたり本号「特集」と「まちの話」では、川本町の未来について夢を語ってもらいました。皆さんからのメッセージ

はふる里への熱い思いが伝わってくるものばかり。▼今年も多くの皆さんの「声」があふれる紙面づくりを目指したいと思います。どうぞよろしくお願いたします。（K）